

第1回 岩見沢市福祉施策検討委員会の概要

第1回 岩見沢市福祉施策検討委員会

日時：平成29年7月11日（火）10時00分～11時30分

場所：岩見沢市役所3階 第2会議室

出席者： 森本委員、堀委員、石垣委員、鎌田委員、中村委員、東海林委員、齋藤委員、高柳委員、中田委員、新川委員、鳴海委員

欠席者： 山本委員、梅田委員

事務局： 石崎健康福祉部長、出口健康福祉推進担当次長、瀬野福祉課長、堀内高齢介護課長、青山福祉課主幹、吉成高齢介護課主幹、下田北村支所市民福祉課長、野々村栗沢支所市民福祉課長、小笠原総務グループ担当主査、山田障がい者福祉グループ担当主査、鈴木高齢者支援グループ担当主査

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長挨拶

4 委員紹介及び事務局紹介

5 委員長及び副委員長の選出

委員の互選により、委員長 齋藤硯三委員、副委員長 東海林公子委員に決定。

6 委員長挨拶（要旨）

岩見沢市の福祉施策についてその見直しや、あり方について意見を述べるということは、現にその施策の対象となっている方々に対して、何らかの影響を及ぼすことは避けられない。

従って、意見を述べることに慎重にならざるを得ないという面もあろうが、これまでの経験や知見に基づき、大局に立った意見をいただくことによって議論を進め、事務局も含めて最終的にはここに集まった本委員会のメンバーの知恵の結晶としての最善の策を結論としてまとめたい。

7 議事（1）委員会の進め方

- ・ 検討委員会の情報公開について、内容は公開とする。
- ・ 市ホームページに開催日時等を公開し、当日は一般の傍聴を認める。
- ・ 市議会の傍聴に関する規則を基本として、傍聴者の発言は認めない。
- ・ 会議の要点を整理し、市ホームページに公開。その際発言者の氏名は明示しない。
- ・ 本日含め5回程度の会議を予定し、提案、提言をしていく。

7 議事（2）市を取り巻く財政等の状況について

- 資料4「市を取り巻く財政等の状況」に沿って説明 —
- ・ 意見等なく了解

7 議事 (3) 市の単独福祉施策等について

— 資料5「市の単独福祉施策等一覧」に沿って説明 —

・ 質疑応答

発言者	意見等要旨
委員	健康診査事業、がん検診事業について、予算で見込んだそれぞれの人数の詳細を知りたい。
事務局	⇒次回会議までに資料を用意する。
委員	地域除排雪事業について、対象戸数と実際に支援する戸数がどういう実態にあるか、支援の仕方、支給の仕方等、内容について詳しい資料を。それによって議論が発展すると思う。
事務局	⇒地域除排雪事業は、市→社会福祉協議会→地域のふれあい推進協議会の流れで取りまとめを依頼し、実績報告に基づき報償費を支出。実際の実績報告がどのような内容かは、次回委員会までに資料を用意する。
委員	市と、実際に取り組んでいる社協との間でどんな課題があり、解決済みなのかどうか、地域によって取組みが違う等、本当に困っている人に対する事業をどう実施したらいいかという議論をするべき。全ての事業について言えると思う。
委員長	全ての事業について議論するのは難しいので、ある程度重点的に見直すべき事業かどうかを絞るのが实际的。「一律的な給付事業の再検証」というポイントで分けられるので、そこで一線を引いてはいかかがか。 その判断材料となるような資料をいただきたい。
委員	事業の実態、実施の際の課題、地域からの要求等、それに応えられているかどうかを説明いただけると、議論しやすい。それがないと、感覚的な話し合いになりかねない。
委員長	ざっくりばらんに、事務局としてこの事業については特に議論してほしいと、資料と共にお話しいただけないか。それに対して委員から意見をいただくとすると、議論しやすいと思う。
事務局	⇒ざっくりばらんに、現状での問題や、地域からの要望、担い手の問題等、事務局で把握している限りの情報を示し、事業の方向転換等についての意見もいただけるような資料を用意する。
委員	88歳や99歳を市がお祝いしなければならないものか、やめるべきではないかと個人的には思ってしまうので、なぜこの事業を実施しているのかという根本や、事業の目的がわかる要綱等、事業実施の根拠になるものを示していただきたい。
委員長	H19の検討委員会の答申で廃止とされながら、未だに廃止できないでいる事業の廃止できなかった理由や実態を示していただきたい。
事務局	⇒いつから始まりどのような経過を経て今に至るか、要綱も含めて整理する。他市の類似事業の実施状況についても照会中のため、併せて次回の委員会で提示する。

発言者	意見等要旨
委員	<p>単独、上乘せ事業は何かの特別な事情と根拠があつて行っていると思うが、ある程度効果を上げると止められる事業も行政は継続する傾向があるので、そういう経過の資料をいただけるといふ事であれば議論しやすい。</p>
委員	<p>岩見沢の特色を出そうとして単独で行っている事業だろうから、それがいい悪いでなく、なぜ行つてきて、何を充実させたいのかが見えると、議論しやすい。</p>
委員長	<p>例えば、健康ポイント事業は単純に考えると必要なのだろうかと思うが、これを通して元気な市、健康づくりの市を作っていこうという方向性なのだとなれば、これは認めなければならないとなるだろうし、市の方向性を皆に分かるようにアピールするような資料作りをしていただければと思う。</p>

8 その他

・次回の会議について、8月の下旬で考えており、8月21日の週で調整し開催したい。

9 閉会